

平成29年5月14日  
今週のベストショット



雁レク7 (奥) ソルトベイスターズ 対 新町ウインズ戦

最終回二死からソルト初勝利の夢を砕くウインズ四番・桐島選手の逆転サヨナラ2ラン！

写真：ブルーマーリンズ 末松 勝祝

雁レク7 (センター側) ウインズの頼れる四番・桐島選手！劇的な逆転サヨナラ2ランHR！！

ソルトベイスターズ (0勝3敗) 0002101 4 小山●-大門

新町ウインズ (2勝1敗) 1110002× 5 藤田○-吉浦

HR：桐島 (新町ウ) 2BH：今林 (新町ウ) 盗塁：安藤 (一) 4、桐島 (新町ウ) 吉田 (ソルト)

前々日の雨の影響により、グラウンドはやわらかくすべりやすいコンディションの中、今期1勝目をもぎりたいソルトベイスターズと若手を一番から三番まで揃え2勝目を狙う新町ウインズにて試合開始。一回表ソルトは、ウインズ藤田投手の立ち上がりを攻め、一番吉田選手が四球後すかさず盗塁を試みるも、吉浦捕手の強肩でタッチアウト。二死から三番真弓選手がライト前、四番中村選手がレフトエラーにて一三塁の先制チャンスを迎えたが、五番酒井選手が三振で先制点ならず。一方ウインズは、二番安藤 (一) 選手が死球を選び、すかさず盗塁成功。続く三番吉浦選手のセンターフライタッチアップで足の速さを活かし三進。四番桐島選手のファーストエラーの間にウインズ1点先制。ソルトベイスターズは二回、三回と藤田投手の前に三振5個をくらい無得点。一方ウインズは、二、三回と着実に点を加え3-0とする。反撃を試みたいソルトベイスターズは四回表、シニア60歳の真弓選手が藤田投手の速球を綺麗に打ち返し、1打席目に続きセンター前にて出塁。続く四番中村監督兼選手もライト前にてチャンスを広げ、相手エラーで2点を返す。一方のウインズは、四回から六回まで小山投手の左腕から繰り出す投球に無得点。こうなると押せ押せムードのソルトベイスターズが牙をむく。五回表、一番吉田選手が内野安打、パスボール等で三塁へ。二死から「ここは俺に任せろ！」と四番の中村監督兼選手が、センター前へ同点打を放ち試合を振り出しに！そのままの勢いの中迎えた七回表のソルトベイスターズは、またもや一番吉田選手がピッチャー前にバントヒットにて意地の出塁。盗塁とゴロで三進。そしてまたもやもってる男、中村監督兼選手が、勝ち越しのレフトエラーを誘う！！ソルトベイスターズベンチは大いに盛り上がる！！今期初勝利が見えた七回裏！劇的なドラマが生まれる。何としても負けられないウインズは、前回鮮烈デビュー

の泉太一選手からはじまる絶好の打順。一番泉太一選手は力が入りピッチャーフライ、しかし、二番安藤（一）選手がキャッチャー前に内野安打で出塁すると、得意の足を活かし二盗、三盗を成功させる。三番吉浦選手は三振、そして迎える四番桐島選手。この日小山投手からはレフト前ヒットがあり先週もホームランを放ち今一番頼れる男！そして、なんとなんと鮮やかなライトオーバーの劇的サヨナラ2ランにて試合を締めくくった！！今回の試合は、守備の乱れによるエラーからの得点が目立ったが、そういった中でも、ウインズ安藤（一）選手の次の塁を狙う姿勢は他のチームの方も見本とすべきと感じた。小さい身体ながらも自分の良さを最大限にアピールし得点に絡む数々の進塁が結果に結びついたように感じた。一方敗れたソルトベスターズ中村監督だが、今期の開幕前にチーム存続をかけて臨まれる姿勢がこの追い上げに結びついたのではないかと感じた。各チーム事情はいろいろあるが、戦う姿勢があるチームには、人は必ず寄ってくると信じて、今期も戦って欲しいと思う。

（記事・写真：ブルーマーリンス 末松 勝祝）



二回裏 ウインズ今林選手のホームイン。



三回裏 走る走るウインズ安藤一步樹選手。



四回表 本日2安打の60歳！ソルト真弓選手！



五回表 「いけいけ〜！」のソルト迫三塁コーチ。



五回表 同点打！ソルト中村監督兼選手。



六回表 何とか出塁したいソルト小山投手。



七回表 反撃の狼煙！バントヒット吉田選手！



七回裏 桐島選手、逆転サヨナラ2ランホームラン！



七回裏 ガッツポーズでホームイン桐島選手。



文句なしのホームラン桐島選手と4盗塁安藤選手！

### 雁レク少年野球場 三球会が六回裏サヨナラで逆転勝利！

塩浜ジャガーズ（2敗）001000 1 立石●ー橋村  
 三苦三球会（2勝1敗）000002x 2 吉留○ー藤澤

3HB：立石（塩浜ジ） 2HB：橋村（塩浜ジ） 藤澤（三球会） 盗塁：濱口、上村、大津、堺（太）（三球会）

初回から両投手の好投で締まった試合運び。まず試合が動いたのは三回表。塩浜ジャガーズ二番石崎選手が四球、一死一塁で三番立石選手がセンターを抜ける適時三塁打を放ち先制点。その後立石投手は、自ら奪った1点を守るべく五回裏までノーヒットピッチング。完封勝利まであとわずか。そんな中、六回裏にドラマが。先頭の三球会大津選手がレフト前で出塁、盗塁と失策などで無死三塁と同点のチャンス。ここで回ってきたのは三球会四番半田選手。ここまで三ゴロ、三振に抑えられていたが、必至にライト線へ犠牲フライを放ち同点に。勢いは怖い。続く堺太一選手もしぶとく四球で出塁すると果敢にスチールに成功し、一死二塁の逆転のチャンス。続く藤澤選手が見事な左中間へのサヨナラ適時二塁打を放ち、三球会ベンチはお祭り騒ぎ。これも追加点を与えず、要所要所で我慢強く抑えた吉留投手と三球会ナイン全員で掴んだ勝利だ。対する立石投手も五回までノーヒットピッチングで好投するなど、非常に見応えのある試合だった。（記事・写真：三苦フレンズ 肥喜里 一征）



一回裏、果敢にスチールを狙う三球会上村選手。



二回表、本試合初安打ジャガーズ荒木選手。



二回表、しぶとく内野安打で続く石内選手。



三回表、センターへ適時三塁打で先制ジャガーズ立石選手。



四回表、軽快な動きでサードゴロをさばいた堺達也選手。



五回表、ここまでノーヒットに抑えている立石投手。



六回表、左中間への二塁打で本日マルチヒットの橋村選手。



六回表、ここまで1失点と粘り強く投げ続ける吉留投手。



六回裏、価値ある犠牲フライを放つ四番半田選手。



六回裏、犠牲フライで生還する大津選手。



貴重な同点打にベンチで祝福される半田選手。



逆転に向けて果敢にスチール 堺太一選手。



左中間へ見事なサヨナラヒットを放った藤澤選手。



サヨナラの逆転勝利に沸く三球会ベンチ。

### 雁レク7 (ホーム側) 接戦！少ないチャンスを活かしたホーネッツが勝利！

三苦ホーネッツ (3勝) 0 1 1 0 0 0 2 川原○-広木

新町パイレーツ (2敗) 0 0 0 0 1 0 1 吉田●-大濱

HR: 広木 (三苦ホ) 弥栄 (新町パ) 盗塁: 川原、三浦、稲葉 (三苦ホ)

試合は和白新町パイレーツ吉田投手、三苦ホーネッツ川原投手の先発で始まった。一回表ホーネッツは、一番矢野(義)選手がピッチャー強襲打で出塁するもWプレーで後続が続かず。その裏パイレーツも二死から三番足立選手がヒットで出塁するも離塁アウトで得点できない。二回表ホーネッツは、先頭の四番広木選手がガツンと左中間を破るHRで1点先制。その裏パイレーツは六番小林選手がセンター前で出塁するが、あとが続かず得点できない。三回表ホーネッツは、九番隈崎選手がセンターを超える大きな打球を放つと、センター弥栄選手が猛然と追いつき、捕球するかと思われたが、ボールがこぼれ、隈崎選手は三塁まで進むチャンスとなる。一死後、二番川原選手が詰まりながらもセンター前に運び、待望の追加点を挙げる。その後も両チーム単打は出るが吉田投手、川原投手が踏ん張り要所を締め、得点を与えない。そして五回裏パイレーツは二死から一番弥栄選手が川原投手の速球を左中間に弾き返すHRを放つ。弥栄選手の雄叫びで一気にパイレーツのムードは盛り上がった。そして1点差の六回裏、パイレーツは先頭の足立選手がセンター前で出塁すると五番白岩選手がレフト前に運び一死一二塁と同点のチャンスでパイレーツは再び盛り上がる。しかし川原投手がここは踏ん張り後続を討ち取ってゲームセット。ホーネッツ中村監督は「広木選手のHRが大きかった。また、川原-広木のバッテリーが投打に活躍したとのことがポイントだった」とのこと。パイレーツ白岩監督は「バント失敗やミスで打線が繋がらなかった」と悔しさを顕わにしていた。2-1と両投手が踏ん張った試合で少ないチャンスを活かしたホーネッツは素晴らしかった。(記事:三友クラブ 駄原 孝一郎、写真:大坪 和則)



パイレーツ先発の吉田投手。



ホーネッツ先発の川原投手。



一回裏、センター前ヒットを放つパイレーツ足立選手。



二回表、先制のHRを放つホーネッツ広木選手。



二回裏、センター前ヒットを放つパイレーツ小林選手。



三回表、追加点のチャンスメイク！ホーネッツ隈崎選手。



三回表、ディレードスチールで三進のホーネッツ川原選手。



四回裏、闘志伝わる左前ヒットを放つパイレーツ白岩選手。



五回表、センター前に球を弾き返したホーネッツ三浦選手。



五回裏、徳望の1点を返すHR！パイレーツ弥栄選手。



サードゴロに飛びつきフォースアウトにする三重野選手。



ダッシュで浅いフライを好捕するホーネッツ稲葉選手。

## 第5週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第5週、5月14日は3試合が行われました。

雁レク7（センター側）のソルトベスターズ対新町ウインズ戦は、ウインズが3点取るとソルトが取り返し、迎えた最終回相手エラーで1点勝ち越したソルトだったが、二死三塁でウインズ四番桐島選手が逆転サヨナラ2ランを放ち4-5xで見事2勝目を挙げた。献身的な盗塁でチャンスを作ったウインズ二番安藤一步樹選手の活躍も光った。

少年球場の塩浜ジャガーズ対三苦三球会戦は、三回表ジャガーズ立石投手が自ら放った三塁打で1点を先制すると、この虎の子の1点を守る。しかし六回裏、三球会四番半田選手が同点の犠牲フライを放つと、一死二塁から六番藤澤選手が逆転二塁打！三球会は勝負所の六回裏に2つの盗塁がどちらも点に絡むなど、効果的な走塁が1-2xの勝利に繋がった。

雁レク7（ホーム側）の三苦ホーネッツ対和白新町パイレーツ戦は、豪打と機動力を誇るホーネッツ打線に対し、パイレーツ吉田投手は2点に抑えるも、味方の反撃はホーネッツ川原投手に弥栄選手のソロHRだけに抑えられ2-1でホーネッツの勝利。

今週は3試合のうち2試合がサヨナラ、全てが1点差でした。接戦をものに出来るかどうか最終的な順位に大きく関わってきます。

どのポイントで得点を挙げるのか、そこまでどのように展開していくのかチームの意思を一つに1点にこだわった試合にして欲しいと思います。